

県議会 おおいだ

題字は、大分県立大分舞鶴高等学校
2年 古田 園夏さんの作品です。

No.85

大分県議会
平成24年2月発行



- ▶平成23年 第4回定例会 1
- ▶主な質問答弁要旨 2
- ▶県議会 10大ニュース 4
- ▶県議会 今後の動き 6

平成23年 第4回定例会

11月28日に開会、12月13日まで
の会期16日間で開催しました。

開会后、議長からの諸般の報告
に続き、職員給与条例の一部改正
案や大分県長期総合計画「安心・
活力・発展プラン2005」の変
更案など議案20件と報告1件が提
出され、広瀬知事が提案理由を説
明しました。

12月5日から3日間の一般質問
では12人の議員が登壇し、防災対
策やTPP参加による県内農業へ
の影響、児童虐待の再発防止など
について、執行部と活発な論議が
行われました。

各常任委員会は、8日に開催し、
付託された議案等について慎重な
審査を行いました。

最終日には、任期満了
に伴う公安委員と収用委
員の選任について提案が
ありました。

今定例会では、知事提
出議案（決算関係議案を
除く）22件を原案どおり
可決・同意し、議員提出
議案12件及び委員会提出
議案2件を可決、請願は
3件を採択、2件を不採
択とし、閉会しました。

一般質問



自由民主党
元吉 俊博 議員

▼小規模集落対策
▼グリーンツーリズムの推進



公明党
河野 成司 議員

▼TPPについて
▼児童虐待の再発防止



県民クラブ
三浦 正臣 議員

▼若者の雇用
▼震災がれきの受入れ



自由民主党・無所属の会
古手川 正治 議員

▼中小企業対策
▼金融対策



県民クラブ
原田 孝司 議員

▼県の発注する契約に従事する者
の労働環境
▼教育行政



自由民主党・無所属の会
土居 昌弘 議員

▼看護師確保対策
▼林業の課題



県民クラブ
尾島 保彦 議員

▼誰もが安心して暮らせる大分県づくり
▼小規模集落対策



自由民主党・無所属の会
油布 勝秀 議員

▼一村一品運動
▼捜査対応



県民クラブ
藤田 正道 議員

▼ウイルス性肝炎対策
▼マンション対策



自由民主党・無所属の会
濱田 洋 議員

▼長期総合計画の見直し
▼地域力をつける社会資本の整備



県民クラブ
馬場 林 議員

▼一人ひとりを大切にす教育
▼中津日田道路と中津港の整備



自由民主党・無所属の会
御手洗 吉生 議員

▼防災対策
▼認知症対策

※質問項目は、一人2項目を掲載
しています。

問

先般、別府市で発生した4歳児虐待死事件について、未然防止が図れなかったことが残念でならない。このような極めて痛ましい事案が二度と起きないように、今後どのような防止策を講じていくのか伺いたい。

答

去る11月25日に、別府市の4歳の男の子が、母親からの虐待が原因と思われる事件で幼い命を失うという大変痛ましい事件が発生した。誠に残念であり、亡くなられたお子さんのご冥福を心からお祈りする。子どもにとって親は最後の頼り

になる存在であり、家庭は逃げようのない場所である中、命をも奪うような児童虐待は決してあってはならない行為であると考ええる。県においても、県社会福祉審議会の児童相談部会の委員に把握できている情報を伝え、専門的な見地からの助言を求めするなど、発生原因の分析や再発防止策の検討を急いでいるところである。

子どもを虐待から守るためには、次の4つの対策が重要だと考える。

①虐待の未然防止

「いつでも子育てほつとライン」や子育て相談体制をさらに充実させ、子育ての悩みや不安を解消し、虐待の未然防止に努める。

②虐待の早期発見

全ての市町村で、保育所や学校、警察、児童相談所などの関係機関を結ぶネットワークを強化なものとし、支援が必要な家庭の把握や情報共有を行う。

③虐待への早期対応

虐待の通報等があった場合には、市町村や児童相談所が直ちに直接子どもと面会し、その安全確認を徹底する。

④子どもの安全確保

子どもの安全が損なわれていると判断されるときは、警察とも連

携しながら、児童相談所長の権限で一時保護を行い、子どもの安全を確保していく。

児童虐待は、国や地方を含め、社会全体で解決していかなければならぬ重要な課題であり、今回の事件を重く受け止め、関係機関挙げて再発防止に全力で取り組まなければならないと考える。

問

中山間地域を中心に過疎・高齢化が進み、限界集落ともいわれる小規模集落は増加の一途をたどっており、集落そのものの消失が危惧される地区も多く存在する。そこで、現在の県下の小規模集落数と10年後、20年後の推計数及び今後の具体的な支援計画について伺いたい。

答

小規模集落数は、調査を開始した平成20年度と比較すると119集落増加し、23年3月現在、563集落となっている。10年後、20年後については、集落それぞれの今後の人口変動やそれに伴う自治区の統合等も影響するため推計は難しいが、少子高齢化の進行に伴い、その増加は避けられないものと思料する。県としては、これまでの取組に

よって成果が表れている住民による見守り隊の結成や名水を使った特産品の開発などに引き続き取り組むとともに、単独では集落機能維持の取組自体が困難などころには、複数集落が連携して助け合う仕組みづくりへの支援について検討していく。

また、本県は、田舎暮らし希望地域ランキングで全国4位というアンケート結果もあるなど一定の支持を得ていることから、これを好機と捉え、空き家改修補助制度を実施している市町村とも連携し、空き家バンクによる更なる情報発信や移住フェアなどで大分の魅力を積極的にアピールし、定住促進に繋げていく。

問 水産業の担い手対策として、中核的漁業者の育成や新たな担い手としての県内外からの企業参入などが挙げられるが、現状を踏まえると、養殖分野では効果が

見込まれる可能性はあるものの、海面漁業分野では、燃料の高騰や漁獲高低迷等により漁業では生活できないことが後継者不足の最大の原因となっている。この危機的な現状を踏まえた担い手対策として、戸別所得補償制度の導入

や法人化等集団経営による外部労働力の導入なども検討すべきではないだろうか。

答

この5年間の新規就業者数は毎年50人前後で推移し、248人となっている。内訳をみると、就業先は一本釣を中心に漁業が9割、養殖業が1割で、水産業以外の分野からの参入が8割を占めている。

戸別所得補償については、本年度から国による資源管理・漁業所得補償対策が実施されている。具体的には、漁業共済制度の中で掛金を抑える措置が取られており、基準収入から一定以上の減収が生じた場合、収入を最大9割まで補填する制度が導入されたことから、関係団体と連携して漁業者への加入促進を図っている。

また、法人化等については、まき網やまぐろはえなわ漁業の一部でみられるものの、本県では、独立性の強い小規模漁船漁業が主体であるため、外部労働力の導入に向けた合意形成は難しいと考える。県としては、海洋科学高校の生徒を対象にしたインターンシップや社会人を漁業現場で技術習得させる研修等を推進し、担い手の確保に努める。

可決・承認された議案（議員提出）

意見書（11件）

- ▼サイバー攻撃・情報保全対策に関する意見書
- ▼原子力発電所の警備に関する意見書
- ▼「社会保障・税一体改革成案」における「受診時定額負担」の導入に反対する意見書
- ▼郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書
- ▼消費者のための新たな訴訟制度の創設に係る意見書
- ▼円高から地域の雇用や中小企業を守る対策を求める意見書
- ▼国民生活の安心と向上を図る各種交付金の継続を求める意見書
- ▼災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書
- ▼防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書
- ▼鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
- ▼視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書

決議（1件）

- ▼今冬の電力需給対策における節電の取組宣言決議



可決・承認された議案（委員会提出）

意見書（2件）

- ▼JR九州及び貨物に係る経営支援策等の継続を求める意見書
- ▼離職者訓練（介護福祉士委託訓練）並びに修学資金貸付制度の継続を求める意見書

採択された請願（3件）

- ▼JR九州に係る経営支援策等の継続を求める意見書の提出について
- ▼離職者訓練（介護福祉士委託訓練）並びに修学資金貸付制度の継続を求める意見書の提出について
- ▼JR九州に係る税制特例措置の継続を求める意見書の提出について

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

可決・承認された議案（知事提出）

決算関係（17件）

- ▼平成22年度大分県一般会計歳入歳出決算の認定について ほか

条例関係（9件）

- ▼職員の給与に関する条例等の一部改正について ほか

人事関係（2件）

- ▼公安委員会委員の任命について ほか

その他（11件）

- ▼大分県長期総合計画の変更について ほか

平成23年 県議会10大 News

ニュース
~1年を振り返って~

1 大分県がん対策推進
条例の制定(3月22日)
政策的議員提案条例とし
ては7つめの制定となる
(平成18年度以降)

2 3・11 東日本大震
災への対応
被災地支援の決議を全会
一致で可決(3月15日)
し、被災県(3県)へ義
捐金を送った(3月22日)
常任委員会で被災地を訪
問、調査
(8月22日~9月1日)

3 全国都道府県議会議
長会における取組
志村議長が国土交通委員
会委員長に就任(6月17日)
国土交通委員会が東九州
自動車道の佐伯~蒲江間
の工事現場等を視察し、
佐伯市で関係者と意見交
換会を開催(9月1日)
視察結果や各県の状況を
取りまとめ、国へ対し
「高速道路ネットワーク
の早期完成」等について
要請を行った
(11月8日及び12月15日)

4 第69代議長に志村学
議員が、第91代副議
長に井上伸史議員が就任
(5月16日)

5 「危機管理対策特別委
員会」、「産業・雇用
対策特別委員会」、「人と自
然の環境・資源対策特別委
員会」及び「広域行政・行
財政改革特別委員会」の4
つの特別委員会を設置
(8月3日)

6 議会改革や機能強化
への取組を検討する
ため、「新政策構築協議
会」及び「議会議論活性化
協議会」を設置(7月14日)

7 議員の辞職等
現職議員2人が辞職(7月
7日及び8月15日)し、1
人が繰り上げ当選(7月27
日)となったことにより、
現議員数は43人となった

8 開かれた県議会への
取組
議員出前講座を
宇佐市立駅館小学校
(2月4日)
大分市立賀来小中学校
(2月10日)
竹田市立竹田中学校
(10月6日)
大分市立東植田小学校
(11月1日)
大分市立城南中学校
(11月9日)で開催
「県議会だより」の充実
新聞広報

9 政策及び情報共有の
ため、県・市町村の
議会議長との意見交換会
を定期的に開催(8月26日)

10 「厄機管理対策特別委
員会」、「産業・雇用
対策特別委員会」、「人と自
然の環境・資源対策特別委
員会」及び「広域行政・行
財政改革特別委員会」の4
つの特別委員会を設置
(8月3日)

3 平成23年統一地方選挙
が行われ、新たに44人
の議員が誕生(4月10日)
現職31人、元職1人、新
人12人



写真：被災地調査の様子

第72回 県議会56分勉強会

定例会会期中の12月6日、
(財)大分市高崎山管理公社 管
理運営班リーダーで栗猿案内担当
の木本智氏を講師に招き、「高崎
山のサル社会」と題して高崎山の
歴史や、ニホンサルの生態、サル
の管理などについて講演をいただ
きました。

サルは母系家族であり、昔と比べ
て今はおとなしくなったものの、オ
スの順位は年功序列(そうでなけれ
ば、常にオスどうしがぶつかり合う
ため)。また、生まれてきたサルに
は名前をつけてデータベース化しパ
ソコンで管理をしているが、一度つ
けた名前は二度とつけられないた
め、毎年第一号の赤ちゃんサルには、
その年の出来事をモチーフにするな
ど命名には苦労されているとのこと
でした。ちなみに、昨年誕生した第一
号の赤ちゃんサルは「キズナ」と命名
されたそうです。

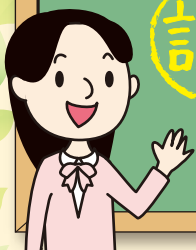


議員からは、
「群れから離れる
ことはないのか?」
「エサのサツマイモ
はどこかと契約して
いるのか?」など、
議員らしい(笑)質
問がありました。



議員出前講座開催

11月1日に大分市立東植田小学校(第2回)、9日には大分市立城南中学校(第3回)で、議員出前講座を開催しました。



受講したのは、6年生89人。

講師を務めた守永信幸議員と吉岡美智子議員が、県議会の役割や仕組み、議員の仕事や県の事業などについて説明を行いました。

終始、真剣に議員の話を聴き、クイズコーナーでは多くの児童の手が挙がりました。また、質問コーナーでは「災害時の食料の備蓄」や「高齢者の福祉」など議会以外の質問も飛び出し、東日本大震災の影響から関心の深さがうかがえました。

最後に、児童代表の吉野由季菜さんが「議会のしくみや役割を教えてくださいありがとうございます。3学期に勉強する『わたしたちの暮らしと政治』に今日習ったことをいかしていきたいです。政治にも興味を持ちました。生活などにはどうやっていかされているか探してみたいと思いました。」と感想とお礼を述べました。



児童の声

- ★ 議員さんの仕事の内容がとてもわかりやすかったです。初めて知ったことばかりでした。
- ★ 県議会は、子どもたちのことも話し合っていることが分かりました。
- ★ 初めて議員さんに会ったのでドキドキしましたが、とても聞きやすくて話がよくなりました。



第2回

東植田小学校編

第3回

城南中学校編



受講したのは、3年生123人。講師を務めた堤栄三議員と小嶋秀行議員が、県議会の仕組みや役割、議員の仕事などについて説明を行いました。

生徒は、議員の話に耳を傾け、パワーポイントの資料に目を向けながら、一生懸命メモを取っていました。「県議会議員になるために必要な能力は何ですか?」などと小学生とはまた違った質問がありました。

最後に、生徒代表の相野一晃さんが「みんなに分かりやすいように詳しく説明していただき、また、生徒の質問には親切に答えていただき、大変良い機会になりました。『県民を代表して』という言葉に、県議会の方にとっても親近感がわき、大分県のためにがんばってほしいと思いました。」と感想とお礼を述べました。

生徒の声

- ★ ひとつひとつの仕事がとても重要なことで、全てが県のため、県民のためにされているということを学びました。これからの将来についても考えさせられる貴重な時間になりました。
- ★ 政治はおカタイものだと思っていたので、実は意外とわかりやすいものなんだ、という新しい発見ができました。
- ★ 中学の授業では聞けないようなことを教えていただき感激しました。私も、将来、何かの役に立つお仕事ができたらいいなと思いました。



議員出前講座とは…

議員が学校を訪問し、県議会の仕組みや役割、議員の活動などについて児童・生徒にわかりやすく説明し、県議会に対する関心や県政に対する理解を深めてもらうことを目的として開催しています。

飲んだらのれん 飲酒運転根絶県民運動 啓発運動を実施

12月20日午前8時から、大分市の県庁前の国道197号交差点前で、飲酒運転の根絶に向けた街頭活動を行いました。

この日は、議員や県職員らが多数参加し、通勤途中のドライバーたちに飲酒運転根絶を呼びかけました。



大分県立芸術緑丘高等学校 生徒作品展を開催中 (11月30日から2月16日まで)

大分県立芸術緑丘高等学校の生徒作品展は、昨年2月にも開催し、大変好評でした。今回は、11月15日か

ら20日までの大分県立芸術会館で開催されていた第63回大分県立芸術緑丘高等学校美術制作展から34点のアート作品を厳選して展示しています。大分県の芸術文化の原石となる作品をお楽しみください。



第8回 出前県議会 「議員と語るろうイン東部地域」 開催のお知らせ

- 日時：2月20日(月)
13時～15時30分
- 場 所：ホンダ太陽(株)
日出工場 大ホール
- テーマ：障がい者の生活と
就労について

どなたでも傍聴できますので、ぜひご参加ください。
詳しくは議会事務局政策調査課まで

県議会 今後の動き

平成24年第1回定例会の日程(予定)

- ▼2月28日(火)開会
- 3月2日(金)本会議
- 7日(水)本会議
常任委員会
- 8日(木)～9日(金)
本会議(代表質問)
- 12日(月)～14日(水)
本会議(一般質問)
- 15日(木)～16日(金)
予算特別委員会
- 19日(月) 予算特別委員会
- 21日(水)～22日(木)
予算特別委員会
- 23日(金) 常任委員会
- 27日(火) 予算特別委員会
- 29日(木) 閉会

お知らせ

本会議場を見学しませんか

定例会が開かれていないとき、本会議場は、見学することができます。希望される方は、事前にお申し込みください。

詳しくは議会事務局総務課まで



〈編集〉大分県議会事務局 大分市大手町3丁目1-1 ☎097-506-5036(ダイヤルイン) ☎097-506-1785

県議会 ホームページ

大分県議会

検索

県議会ホームページでは…

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

大分県議会 <http://www.pref.oita.jp/site/gikai/>

お問い合わせは
議会事務局各課まで

- 総務課 ▶ 議会庶務、情報公開 など ☎097-506-5019
- 議事課 ▶ 本会議、常任委員会、傍聴 など ☎097-506-5022
- 政策調査課 ▶ 調査業務、特別委員会、議会広報 など ☎097-506-5035

点字版

音読版

「県議会おおいた」のご案内

本紙の点字版・音読版を作成しています。
詳しくは議会事務局政策調査課まで